

NP-S2000

ネットワークプレーヤー

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

生命を吹き込む

弾き手の心を映し出すピアノは高度な技術力と人の芸術的感性が美しく調和して生まれます。

ピアノに楽器としての命を吹き込む最終工程が「整音」と呼ばれる作業です。

熟練した技術者が一音一音に全神経を集中し、弦を打つハンマーの硬さや弾力を微妙に調整することで 88 の鍵盤すべての音色と響きを完璧な状態に揃えていく、息の詰まるような時間。研ぎ澄まされた人間の感性が音を決めていきます。それはオーディオ機器でも何ら変わりません。試聴を重ね、あらゆる構成要素を入念に検討し、設計者が描く理想の音へ一歩、また一歩と近づいていくのです。

100 余年間、音と歩んできたヤマハの伝統が、すべてのヤマハオーディオ機器に息づいています。



オーディオの歩み

1920-
1960s

1922 年：高級手巻蓄音機を世に出す
1955 年以來、数々のハイファイ機器
(レコードプレーヤー、チューナー、
プリメインアンプ、コントロールアンプ、
パワーアンプやスピーカー) を発売
NS-20 モニタースピーカー



NS-20



CA-1000

1970s

CA-1000 プリメインアンプ
A クラス動作プリメインアンプのスタンダード
NS-690 モニタースピーカー
NS-1000M モニタースピーカー
ハイファイファンに現在でも愛される伝説の
スピーカー



NS-690



NS-1000M

B-1 パワーアンプ
全段に FET を採用した革新的なパワーアンプ
C-2 コントロールアンプ
ミラノ国際音楽ハイファイショーで最高賞を受賞
NS-10M スタジオモニタースピーカー
世界で最も普及したスタジオモニター



B-1



C-2

A-1 プリメインアンプ
PX-1 レコードプレーヤー
ヤマハ初のリニアトラッキング式
レコードプレーヤー



PX-1



NS-10M

1980s

B-6 パワーアンプ
X 電源、X アンプ搭載のピラミッド型パワーアンプ
GT-2000/L レコードプレーヤー
GT 思想を具現化した超精密重量級プレーヤー
CD-1
初の CD プレーヤー発売 (1983 年)
B-2x パワーアンプ
MX-10000 パワーアンプ
CX-10000 コントロールアンプ
セパレート機器の能力の定義を変えたアンプ
100 周年記念モデル
AX-2000 プリメインアンプ
128dB の高 S/N 比、デジタル
ダイレクト機能搭載



B-6



GT-2000



AX-2000



GT-CD1

1990s

GT-CD1 CD プレーヤー
一体型セパレート構造を持つ
トップエントリー式プレーヤー

MX-1 パワーアンプ
CX-1 コントロールアンプ

2000s

Soavo-1 and Soavo-2
ナチュラルサウンドスピーカーシステム
A-S2000 プリメインアンプ、
CD-S2000 スーパーオーディオ
CD プレーヤー
A-S1000 プリメインアンプ、
CD-S1000 スーパーオーディオ
CD プレーヤー



Soavo-1



Soavo-2

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音をする。
- 異常に高温になる。
- 内部に水や異物が混入した。
- 煙が出る。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 仰向けや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (本機の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



必ず実行

本機を落したり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

電源/電源コード



必ず実行

必ず付属の専用電源コードを使用する。

専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因になります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示（プラス+とマイナス-）に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯・保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに
従って廃棄する。

設置



必ず実行

必ず2人以上で開梱や持ち運びをする。
重いので、けがの原因になります。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる
場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、
火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因にな
ります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあ
たえるおそれがあります。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接
続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量（ボ
リューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生す
ることがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばら
く放置してください。



禁止

業務用機器とは接続しない。

デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業
務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオ
インターフェースに接続する目的で設計されています。業
務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続
は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを
傷める原因になります。

手入れ



必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー等で外装をふかない。また接点復
活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の
原因になります。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気にな
るものです。隣近所への配慮を十分にしま
しょう。静かな夜間には小さな音でもよ
く通り、特に低音は床や壁などを伝わりや
すく、思わぬところに迷惑をかけてしま
います。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホン
をご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむ
もの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

目次

付属品	8
使用までの基本的な流れ	9
システム構成	10
ベーシックシステム	10
フルシステム	11
各機器の役割	12
再生可能な音声ファイル	12
準備	13
接続する	13
専用アプリケーションをダウンロードする	14
本機の電源を入れる	15
通信設定	16
メディアの共有設定を行う	16
メディアコントローラーの準備をする	16
コンテンツの選択と再生	18
PC のブラウザーで操作する	18
iPhone/iPod touch で操作する	19
本体 / リモコンで操作する	20
お気に入りのコンテンツを登録する	21
設定メニュー	23
設定を変更する	23
設定メニュー一覧	24
拡張設定メニュー一覧	25
各部の名称と機能	26
フロントパネル	26
リモコン	27
補足情報	28
本機に関する基本情報	28
故障かな？と思ったら	30
お手入れのしかた	33
主な仕様	34

本書について

- 本書は製品の生産に先がけて作成されています。製品改良などの理由で、実際の製品と仕様が一部異なる場合があります。また、仕様は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。
- ご使用の環境により、本書のイラスト（画面表示など）が実際の表示と異なる場合があります。
- 「ご注意」は、本機を操作する際の注意事項を記載しています。※ は、知っておくと便利な補足情報を記載しています。

はじめに

NP-S2000 は、ホームネットワーク（DLNA）およびオーディオシステムと組み合わせて、インターネットラジオ（vTuner）や、同一ネットワーク内のメディアサーバー（PC、NAS）の曲を再生するネットワークプレーヤーです。

付属のリモコン以外に、PC のブラウザーや iPhone/iPod touch 専用アプリケーションを使って本機を操作できます。

※ 「DLNA」や「インターネットラジオ」について詳しくは、「本機に関する基本情報」（P.28）をご覧ください。

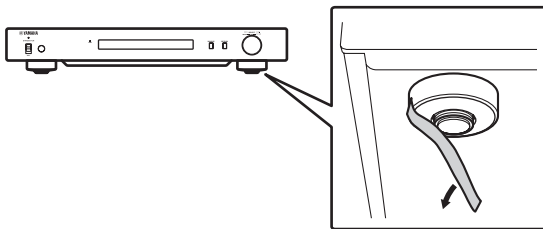
付属品

ご使用になる前に、同梱されている付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

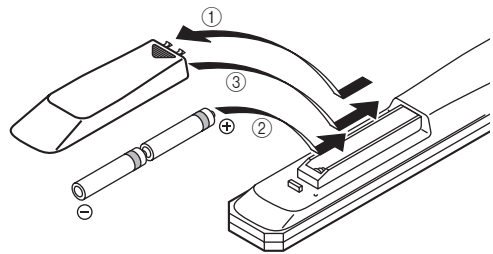
- ・ リモコン
- ・ 単 3 電池 (2 本)
- ・ 電源コード
- ・ ステレオピンケーブル
- ・ TwonkyMedia server ライセンス・キー (別冊)

■ 輸送用テープの取り外し

工場出荷時には、本機の脚のスパイクカバーが輸送用テープで固定されています。設置する前に、輸送用テープを取り外してください。



■ 乾電池を入れる



- ① バッテリーカバーの ▼ マークを押しながらかしき、カバーをリモコンから取り外す。
- ② 電池ケースに記載されている極性 (+ / -) にしたがって、付属の単 3 乾電池 (2 本) を電池ケースに入れる。
- ③ バッテリーカバーをリモコンに取り付ける。

リモコンと乾電池に関するご注意

- ・ リモコンに水などの液体をこぼさないでください。
- ・ リモコンを落とさないでください。
- ・ リモコンを下記のような場所に放置したり保管したりしないでください。
 - － 浴室などの湿気の多い場所
 - － ヒーターやストーブの近くなどの高温になる場所
 - － 温度が極端に低い場所
 - － ほこりの多い場所
- ・ 乾電池の極性 (+ / -) を電池ケース内の表示にあわせてください。
- ・ リモコンで操作可能な範囲が極端に短くなりましたら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。
- ・ 乾電池が切れたら、破裂や液もれの原因になりますので早めにリモコンから取り出して廃棄してください。
- ・ 乾電池が液もれした場合は、液に触れないよう注意して廃棄してください。液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。
- ・ 新しい乾電池と、古い乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・ 乾電池には、形状や色が同じものでも種類が異なるもの (アルカリとマンガンなど) があります。表示をよく読んで、種類の異なる乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・ 新しい乾電池と交換する場合は、電池ケース内のほこりをふき取ってください。
- ・ 使い切った乾電池は、自治体の条例または取り決めにしたがって廃棄してください。

使用までの基本的な流れ

本機でストリーミング音楽やインターネットラジオを楽しむために必要な接続 / 設定の概要を説明します。

1：システム構成を決定する

🔗 P.10

構築するシステムを決定し、必要な環境を確認します。



2：接続する

🔗 P.13

本機を既存のネットワークおよびオーディオシステムに接続します。



3：専用アプリケーションをダウンロードする

🔗 P.14

構築するシステムに必要な専用アプリケーションをダウンロードします。



4：本機の電源を入れる

🔗 P.15

本機と外部機器の電源を入れます。



5：メディアの共有設定を行う

🔗 P.16

メディアサーバー上でメディアの共有設定を行います。



6：メディアコントローラーの準備をする

🔗 P.16

ネットワーク内のネットワークプレーヤーを検索し、メディアコントローラー（本機の実行に使う PC）と接続します。



7：再生する

🔗 P.18

聴きたい音楽やインターネットラジオ局を選びます。

システム構成

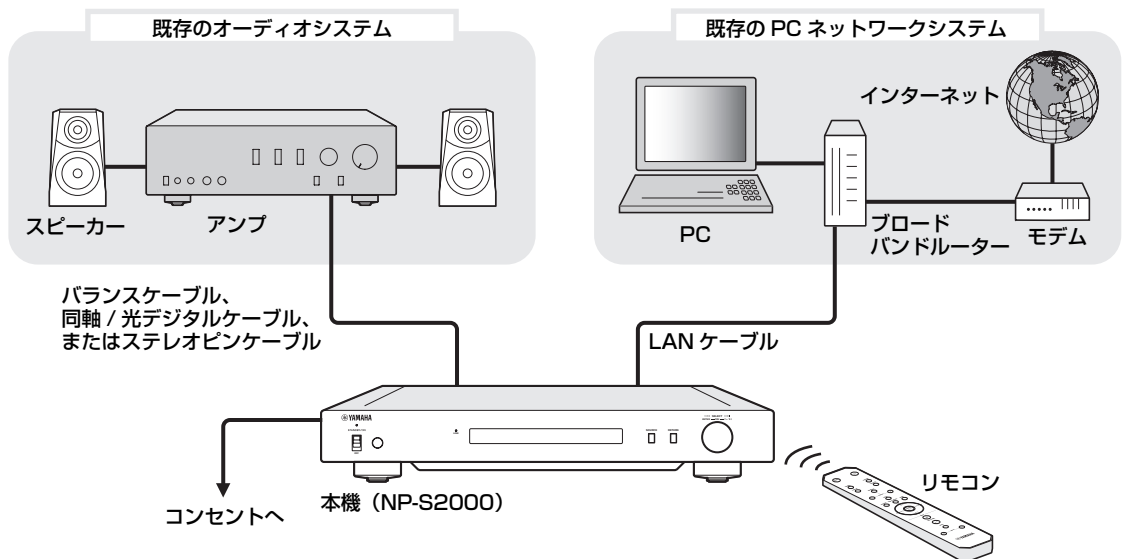
システムの構成例および各システムでできることを説明します。

ベーシックシステム

下図は、本機の基本機能を使用するのに必要な最小構成です。

このシステムでは・・・

- ・ PC 専用アプリケーションを使って、PC と本機を簡単に接続できます。
- ・ 同一ネットワーク内の PC（ブラウザー）やリモコンを使って、再生するコンテンツを選べます。
 - － PC に保存されている音楽ファイルをブラウズする。
 - － インターネットラジオ局を選ぶ。



■ 必要な条件

「ベーシックシステム」を構築するには、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

オーディオシステム

- アンプに音声入力端子が備わっている。
- スピーカーがアンプに接続されている。



アンプと本機の接続について詳しくは、「接続する」(P.13)をご覧ください。また、お使いのアンプに付属している説明書もご覧ください。

PC ネットワークシステム

- ブロードバンドルーター経由で、PC がインターネットに接続されている。
- PC に CD リッピングが可能な CD ドライブが備わっている。また、音声ファイルを保存するのに十分なハードディスク領域がある。



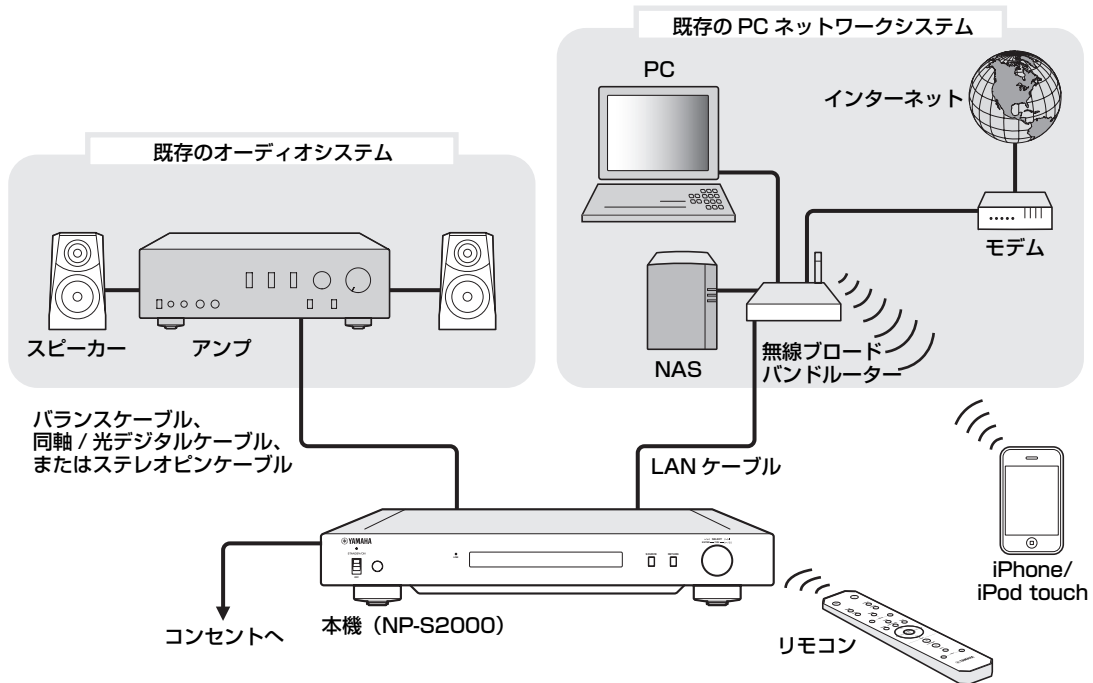
- ・ インターネット接続について詳しくは、お使いのネットワーク機器に付属している説明書をご覧ください。
- ・ PC と本機の接続について詳しくは、「接続する」(P.13)をご覧ください。通信設定について詳しくは、「通信設定」(P.16)をご覧ください。

フルシステム

本機の機能を十分に活用するには、下図のような構成をおすすめします。

このシステムでは・・・

- ・「ベーシックシステム」(☞ P.10) で紹介したすべての機能を利用できます。
- ・NAS に保存されている音楽ファイルを配信できます (PC 起動が不要)。
- ・iPhone/iPod touch を使って、再生するコンテンツを選べます。
 - － PC/NAS に保存されている音楽ファイルをブラウズする。
 - － インターネットラジオ局を選ぶ。



■ 必要な条件

「フルシステム」を構築するには、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

オーディオシステム

- ☐ アンプに音声入力端子が備わっている。
- ☐ スピーカーがアンプに接続されている。

☞
アンプと本機の接続について詳しくは、「接続する」(☞ P.13) をご覧ください。また、お使いのアンプに付属している説明書もご覧ください。

PC ネットワークシステム

- ☐ 無線ブロードバンドルーター経由で、PC がインターネットに接続されている。
- ☐ PC に CD リッピングが可能な CD ドライブが備わっている。また、音声ファイルを保存するのに十分なハードディスク領域がある。
- ☐ NAS が DLNA に対応していて、お使いの PC および無線ブロードバンドルーターと正常に機能している。

☞
・インターネット接続について詳しくは、お使いのネットワーク機器に付属している説明書をご覧ください。
・PC と本機の接続について詳しくは、「接続する」(☞ P.13) をご覧ください。通信設定について詳しくは、「通信設定」(☞ P.16) をご覧ください。

iPhone/iPod touch

- ☐ iPhone/iPod touch が無線ブロードバンドルーターに無線で接続されている。

各機器の役割

システムを構成する各機器の役割を説明します。

本機 (NP-S2000)

PC ネットワークシステムから受信したデジタル音声信号をデコードして、オーディオシステムに送信します。これにより、PC/NAS に保存されている音楽ファイルや、インターネットラジオを高音質でお楽しみいただけます。

リモコン

本機のフロントパネルディスプレイを見ながら、再生するコンテンツを選んだり本機を操作したりします。

アンプ / スピーカー

本機から音声信号を受信して、音声を出力します。

PC (パソコン)

- CD リッピングやダウンロードした音楽ファイルを保存します (DLNA メディアサーバー)。
- PC 専用アプリケーションを使って、PC と本機の通信設定を行います。
- ブラウザー (Internet Explore 6.0 以降) の画面を見ながら、再生するコンテンツを選んだり本機を操作したりします。

ブロードバンドルーター

(無線ブロードバンドルーター)

PC と本機をインターネットに接続します。さらに無線ブロードバンドルーターには、iPhone/iPod touch から受信した制御信号を本機に送信する役割もあります。

NAS (Network Attached Storage : ネットワーク接続ストレージ)

CD リッピングやダウンロードした音楽ファイルを保存します (DLNA メディアサーバー)。PC を起動しなくても音楽ファイルを配信できるので便利です。

iPhone/iPod touch

iPhone/iPod touch 専用アプリケーションをインストールすることで、メディアコントローラーとして機能します。iPhone/iPod touch の画面を見ながら、再生するコンテンツを選んだり本機を操作したりします。

再生可能な音声ファイル

本機は、PC/NAS に保存されている下記の音声ファイルを再生できます。

音声フォーマット :

WAV, FLAC, MP3, AAC, WMA



- 再生可能な音声フォーマットは、メディアサーバーにより異なります。

例 :

- Windows Media Player 12 は WAV、MP3、AAC、WMA に対応
- Windows Media Player 11 は WAV、MP3、WMA に対応
- TwonkyMedia server (付属) は上記すべての音声フォーマットに対応

詳しくは、以下の URL から情報を取得できます。

<http://jp.yamaha.com/av/>

- WAV または FLAC で保存すると、より高音質な再生をお楽しみいただけます。

サンプリング周波数 :

96、88.2、64、48、44.1、32、24、22.05、16、12、11.025、8 (kHz)

量子化ビット数 :

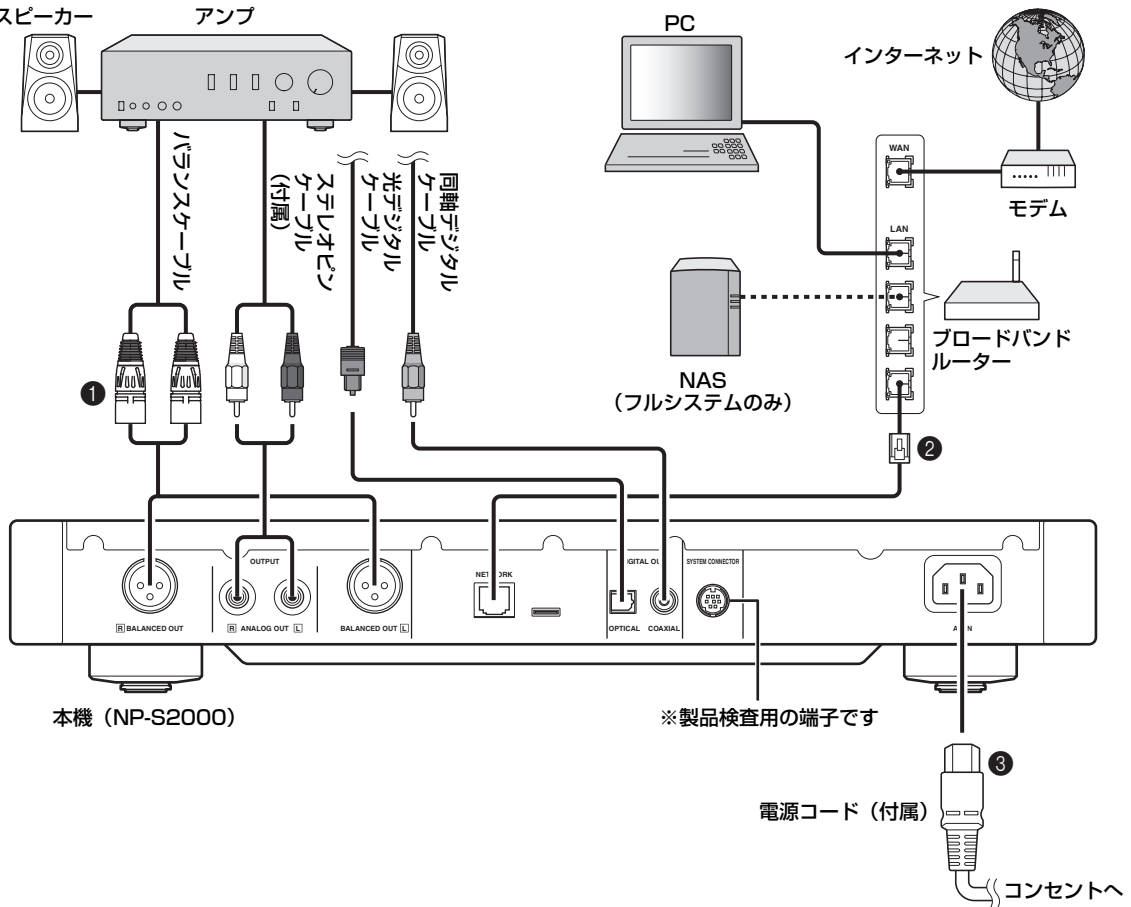
16、24 (bit)

準備

本機を使用する前に必要な準備について説明します。

接続する

構築したいシステム構成に応じて、各機器に対応するケーブルで接続します。



- 1 バランスケーブル、ステレオピンケーブル、光デジタルケーブル、同軸デジタルケーブルのいずれかを使って、本機とアンプを接続する。

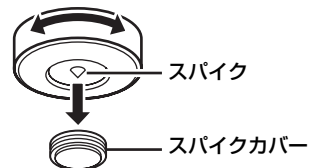


アンプに XLR バランス入力端子が備わっている場合は、最適なオーディオ性能を得るためにバランスケーブル接続をおすすめします。

- 2 LAN ケーブル (STP カテゴリ 5 ストレート) を使って、本機とブロードバンドルーターを接続する。
- 3 電源コードを AC IN 端子に接続し、電源プラグを家庭用コンセントに接続する。

■ スパイクについて

本機の脚にはスパイクが備わっています。スパイクを使うと、本機に対する振動の影響を減少できます。スパイクを使う場合は、磁石式のスパイクカバーを取り外してください。また、本機が不安定な場合には、脚を回して高さを調整できます。

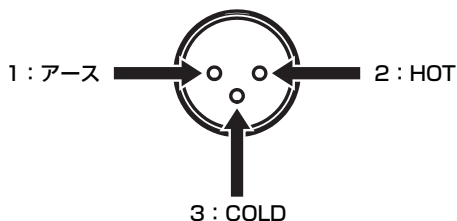


警告

スパイクを使うと本機を設置した棚または床が傷つくことがあります。状況に応じて、保護材などを本機の下に敷いてください。

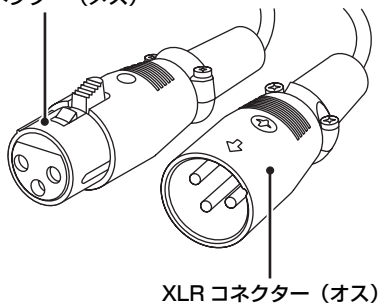
■ BALANCED OUT 端子について

本機の BALANCED OUT 端子のピン割当は下図のとおりです。バランスケーブルを接続する前に、アンプ側の XLR バランス入力端子が下図のピン割当に対応しているかを確認してください。



本機に接続するときは、ピンの位置をよく確認してから XLR コネクター（メス）を「カチッ」と音がするまで差し込みます。取り外すときは、コネクターのレバーを押しながら端子から引き抜きます。

XLR コネクター（メス）



XLR コネクター（オス）

専用アプリケーションをダウンロードする

以下の URL から専用アプリケーションの関連情報を取得できます。

<http://jp.yamaha.com/av/>



本機の最新情報（更新版の取扱説明書、FAQ など）も同時に取得できます。

■ Network Player Search （ネットワークプレーヤーサーチ）

このアプリケーションを使うと、ネットワーク内のネットワークプレーヤーを PC から簡単に検索できます。さらに、ブラウザを起動して、再生するコンテンツを選んだり本機を操作したりできます。

ご注意

このアプリケーションを使う前に、「使用許諾契約」（P.35）を必ずお読みください。

■ Network Player Controller （ネットワークプレーヤーコントローラー） フルシステム

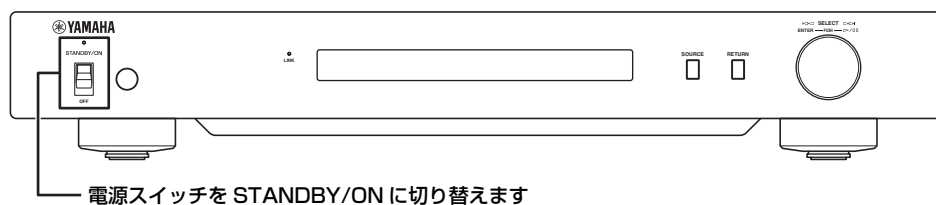
この iPhone/iPod touch 専用アプリケーションを使うと、iPhone/iPod touch の画面を見ながら、再生するコンテンツを選んだり本機を操作したりできます。


■ TwonkyMedia server （トゥウォンキーメディアサーバー）

詳しくは、別冊の「TwonkyMedia server ライセンス・キー」をご覧ください。

本機の電源を入れる

ケーブル接続がすべて完了したら、本機と外部機器の電源を入れます。



 本機の電源スイッチが STANDBY/ON にセットされているときは、リモコンの電源ボタンでオン / スタンバイを切り替えることができます (☞ P.27)。

通信設定

本機、メディアサーバー（PC/NAS）、メディアコントローラー（PC）間の通信に必要な設定を行います。

メディアの共有設定を行う

PC/NAS に保存されている音楽ファイルをネットワーク上で共有するための設定を行います。

■ PC に保存したメディアを共有する

Windows Media Player 12（Windows 7）を使う場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「ネットワークとインターネット」の「ホームグループと共有に関するオプションの選択」を選ぶ。
- 2 「ピクチャ、ミュージック、およびビデオを同じホームネットワーク上にあるすべてのデバイスにストリーム配信する」をチェックし、「メディアストリーミングオプションの選択」を選ぶ。
- 3 「NP-S2000」右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。
- 4 「この PC とリモート接続のメディアプログラム」右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。
- 5 「OK」をクリックして終了する。



本機は Windows 7 対応の DLNA 機器です。Windows Media Player 12 から直接本機の再生を操作することができます。

Windows Media Player 11 を使う場合

- 1 PC で Windows Media Player 11 を起動する。
- 2 「ライブラリ」から「メディアの共有」を選ぶ。

- 3 「メディアを共有する」をチェックし、「NP-S2000」アイコンを選んで「許可」をクリックする。

- 4 手順 3 と同様に、メディアコントローラーとして使いたい機器（ほかの PC や iPhone/iPod touch）のアイコンを選んで「許可」をクリックする。

- 5 「OK」をクリックして終了する。

TwonkyMedia server を使う場合

iTunes を使って PC に保存した音楽ファイルをストリーミング再生で聴くには（デジタル著作権管理付き AAC/MP3 ファイルを除く）、TwonkyMedia server をご利用ください。詳しくは、別冊の「TwonkyMedia server ライセンス・キー」をご覧ください。

本機およびメディアコントローラーとして使いたい機器（ほかの PC や iPhone/iPod touch）が TwonkyMedia server にアクセスできるよう、TwonkyMedia server の設定を変更してください。

■ NAS に保存したメディアを共有する

フルシステム

本機およびメディアコントローラーとして使いたい機器（ほかの PC や iPhone/iPod touch）が NAS にアクセスできるよう、NAS の設定を変更してください。詳しくは、お使いの NAS に付属している説明書をご覧ください。

メディアコントローラーの準備をする

メディアコントローラー（PC）から再生するコンテンツを選んだり本機を操作したりするには、まずブラウザ（Internet Explore 6.0 以降）で本機の IP アドレスを入力する必要があります。「Network Player Search」を使うと、ネットワーク内のネットワークプレーヤーの検索、および PC と本機の接続が簡単にできます。



- ・アプリケーションのダウンロード方法については、「専用アプリケーションをダウンロードする」（☞ P.14）をご覧ください。
- ・iPhone/iPod touch をメディアコントローラーとして使う場合は、「iPhone/iPod touch で操作する」（☞ P.19）をご覧ください。

■ PC をコントローラーとして使う

ここでは、Windows 7 の画面表示を例として使用します。

1 ダウンロードしたフォルダを開き、「NP Search.exe」をクリックして「Network Player Search」を起動する。

「NETWORK PLAYER SEARCH」画面が表示されます。



☀
オペレーティング・システムの言語設定にしたがって、表示言語が自動的に切り替わります。Windows をお使いの場合は、「ツール」メニューの「言語設定」から手動で表示言語を選ぶこともできます。

2 「ネットワークアダプタ」のドロップダウン・リストで本機が接続されているネットワークアダプタを選ぶ。



3 「検索」をクリックしてネットワーク内のネットワークプレーヤーを検索する。



4 リストから目的のモデルを選び、「接続」をクリックする。



ブラウザーが起動し、ネットワークプレーヤーのコントロール画面が表示されます。

この画面で再生するコンテンツを選んだり本機を操作したりできます。詳しくは、「コンテンツの選択と再生」(P.18)をご覧ください。

☀
ブラウザーのブックマーク機能で現在の URL (本機の IP アドレス) を登録しておけば、次回から「Network Player Search」を起動しないでコントロール画面に直接アクセスできます。ただし、DHCP サーバーをお使いの場合は、本機の IP アドレスが変わる可能性があります。

コンテンツの選択と再生

PCのブラウザ（Internet Explorer 6.0以降）、iPhone/iPod touch、または本体/リモコンを使って、再生するコンテンツを選びます。

PCのブラウザで操作する

1 「Source」画面でソースの種類を選ぶ。

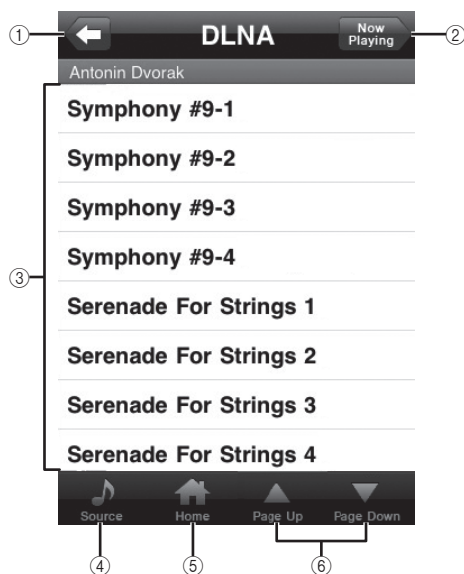


- 「Source」画面は、「PCをコントローラーとして使う」（P.17）の手順を行うと表示されます。
- 本機の設定を変更する場合は、「Setup」を選んでください（P.23）。



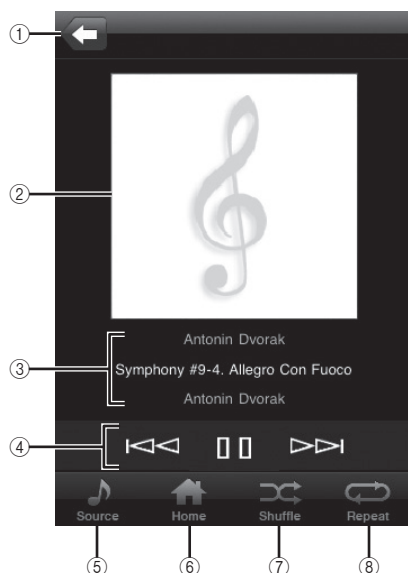
2 目的のメニュー項目から再生したいコンテンツを選ぶ。

メニュー画面



- ① 戻る
前のメニュー画面を表示します。
- ② Now Playing
再生情報画面を表示します。
- ③ メニュー項目
ソース
- ④ Source
「Source」画面を表示します。
- ⑤ Home
トップメニュー画面を表示します。
- ⑥ Page Up/Page Down
ページ アップ ページ ダウン
メニューリストのページを切り替えます。

再生情報画面



- ① 戻る
前のメニュー画面を表示します。
- ② アルバムアート / 局アイコン (表示可能な場合)
- ③ 再生情報
再生中のコンテンツの情報を表示します。
- ④ 再生機能
DLNA: ▷ (再生)、⏏ (一時停止)、⏮ (曲の先頭にスキップ)、⏭ (次の曲にスキップ)
Internet Radio: ▷ (再生)、□ (停止)
- ⑤ Source
「Source」画面を表示します。
- ⑥ Home
トップメニュー画面を表示します。
- ⑦ Shuffle (「DLNA」コンテンツの再生時)
シャッフル機能の有効 / 無効を切り替えます。
- ⑧ Repeat (「DLNA」コンテンツの再生時)
リピート再生のモード (全曲リピート、1 曲リピート、無効) を切り替えます。

📶
「vTuner Radio Guide」ウェブサイトでお気に入りのインターネットラジオ局を登録できます。以下の URL にアクセスしてアカウントを取得してください。アカウントの取得には、本機の MAC アドレス (🔍 P.24)、およびメールアドレスが必要になります。
<http://yradio.vtuner.com/>

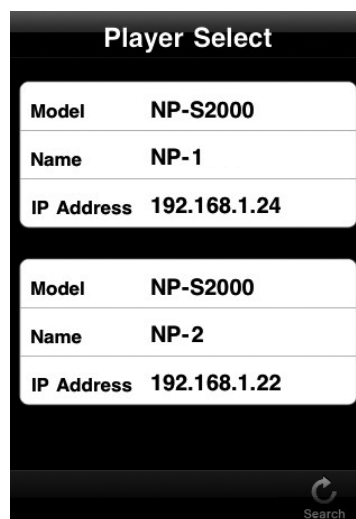
iPhone/iPod touch で操作する **フルシステム**

iPhone/iPod touch 専用アプリケーション「Network Player Controller」(🔍 P.14) を使って、再生するコンテンツを選びます。

- 1 iPhone/iPod touch で「NP Controller」アイコンをタップして「Network Player Controller」を起動する。



- 2 「Player Select」画面で目的のネットワークプレーヤーを選ぶ。



- 📶
- ネットワーク内にネットワークプレーヤーが 1 台しか存在しない場合は、この画面は表示されません。
 - ネットワークプレーヤーのリストを更新するには、「Search」をタップします。

- 3 「PC のブラウザで操作する」(🔍 P.18) の手順を行う。

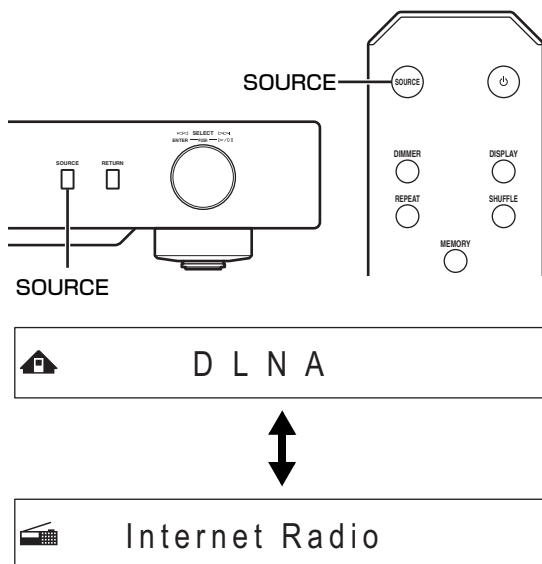
- 📶
- メディアサーバーのリストを更新するには、「Search」をタップします。
 - 選択したメディアサーバーのコンテンツリストを更新するには、「Load」をタップします。メディアサーバーでコンテンツの追加 / 削除などを行った場合にご利用ください。

本体 / リモコンで操作する

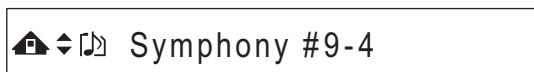


本体とリモコンの操作ボタン / ノブについて詳しくは、「各部の名称と機能」(P.26)をご覧ください。

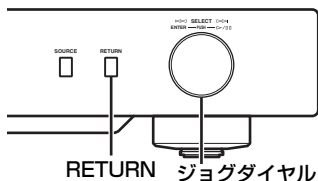
1 SOURCE ボタンを押してソースの種類を選ぶ。



2 以下のボタンを使って、目的のメニュー項目から再生したいコンテンツを選ぶ。



本体



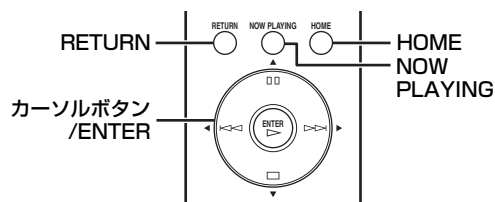
ジョグダイヤル

回してメニューを切り替え、押して選択を確定します。

RETURN

フロントパネルディスプレイに1つ上の階層のメニューを表示します。

リモコン



カーソルボタン / ENTER

▲/▼ ボタンを押してメニューを切り替え (または ◀/▶ ボタンを繰り返し押してゲージから選択)、ENTER ボタンを押して選択を確定します。

RETURN

フロントパネルディスプレイに1つ上の階層のメニューを表示します。

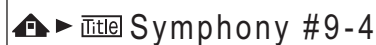
HOME

フロントパネルディスプレイにトップメニューを表示します。

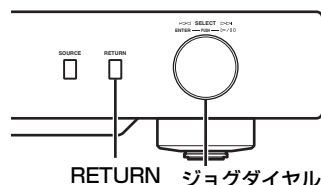
NOW PLAYING

フロントパネルディスプレイに再生情報を表示します。

3 再生が始まったら、以下のボタンを使って操作する。



本体



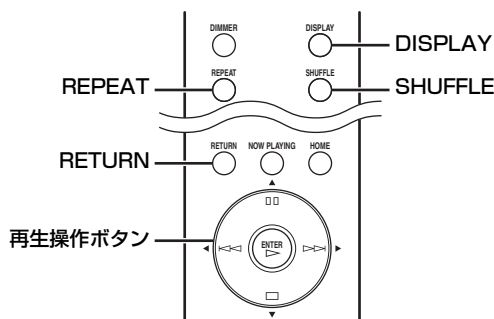
ジョグダイヤル

左に回して曲の先頭にスキップ、右に回して次の曲にスキップします。押して再生 / 一時停止を切り替えます。

RETURN

フロントパネルディスプレイに前のメニューを表示します。

リモコン



再生操作ボタン

DLNA : ▷ (再生)、□□ (一時停止)、◀◀ (曲の先頭にスキップ)、▷▷ (次の曲にスキップ)
Internet Radio : ▷ (再生)、□ (停止)

SHUFFLE (「DLNA」コンテンツの再生時)

シャッフル機能の有効 / 無効を切り替えます。

REPEAT (「DLNA」コンテンツの再生時)

リピート再生のモード (全曲リピート、1 曲リピート、無効) を切り替えます。

DISPLAY

フロントパネルディスプレイに表示されている再生情報を切り替えます。

RETURN

フロントパネルディスプレイに前のメニューを表示します。



「vTuner Radio Guide」ウェブサイトでお気に入りのインターネットラジオ局を登録できます。以下の URL にアクセスしてアカウントを取得してください。アカウントの取得には、本機の MAC アドレス (P.24)、およびメールアドレスが必要になります。

<http://yradio.vtuner.com/>

お気に入りのコンテンツを登録する

お気に入りのコンテンツをプリセット (登録) しておき、リモコンで簡単に再生できるようにします。最大 20 個のコンテンツを登録できます。



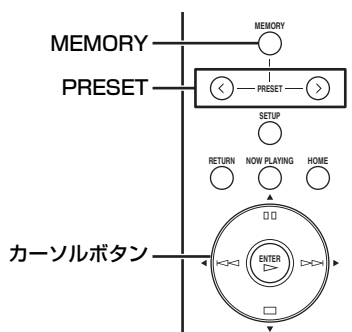
本体とリモコンの操作ボタン / ノブについて詳しくは、「各部の名称と機能」(P.26) をご覧ください。

■ コンテンツを登録する

お気に入りの曲またはインターネットラジオ局を登録できます。

1 登録したいコンテンツを再生する。

2 MEMORY ボタンを押してプリセットモードに切り替える。



未使用のプリセット番号が自動的に選択されます。

▲ Memory: 2 2 4 6 8 9 10

3 プリセット先を変更する場合は、PRESET ボタンまたは ◀▶ ボタンを繰り返し押す。

「1 から 10」と「11 から 20」を切り替えるには、▲/▼ ボタンを押してください。

▲ Memory: 13 13 14 15 16 17 20



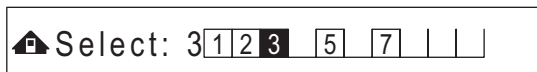
すでにコンテンツが登録されているプリセット番号は、数字が表示されません。これらのプリセット番号を選んだ場合は、登録が上書きされます。

4 もう一度 MEMORY ボタンを押して選択を確定する。

■ 登録したコンテンツを再生する

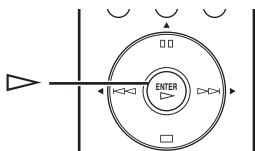
1 PRESET ボタンまたは ◀/▶ ボタンを繰り返し押して、目的のプリセット番号を選ぶ。

「1 から 10」と「11 から 20」を切り替えるには、▲/▼ ボタンを押してください。



未使用のプリセット番号は、数字が表示されません。

2 5 秒以内に、▶ ボタンを押す。



登録内容をすべて消去するには、拡張設定メニューで「Initialize」を実行してください（☞ P.23）。ただし、本機の設定がすべて初期化されるのでご注意ください。

ご注意

- 以下の場合は、プリセット番号を選んでもコンテンツを再生できません。
 - － PC の電源が入っていない、またはネットワークに接続されていない。
 - － 登録したインターネットラジオ局に一時的に接続できない、またはサービスが終了している。
 - － 登録したコンテンツ（ファイル）が別のフォルダに移動された。
- 本機は登録したコンテンツのディレクトリ内における相対的な位置を記憶します。そのため、ディレクトリ内の音楽ファイルを追加 / 削除すると、登録したコンテンツが呼び出されないことがあります。その場合は、コンテンツを登録し直してください。

設定メニュー

設定メニューでは、本機の各種設定を変更できます。

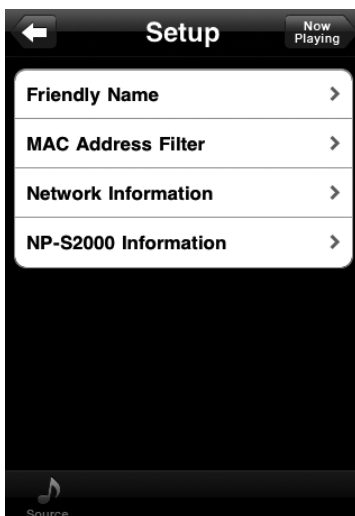
設定を変更する

- PC のブラウザーまたは iPhone/iPod touch で操作する

1 「Source」画面で「Setup」を選ぶ。



2 目的のメニュー項目を選ぶ。



3 適用する設定値を選ぶ。

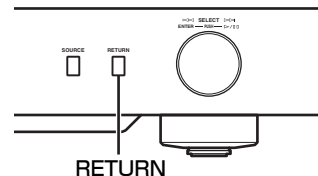
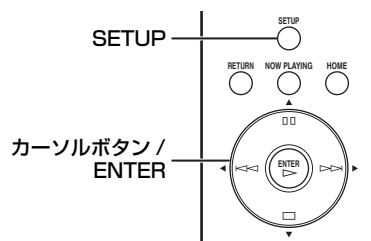
一部のメニュー項目では、文字列の入力が必要になります。この場合は、入力エリアを選んでから、キーボードを使って文字列を入力し、Enter キーを押して内容を確定してください。

■ リモコンで操作する



本体とリモコンの操作ボタン / ノブについて詳しくは、「各部の名称と機能」(P.26) をご覧ください。

- 1 SETUP ボタンを押して設定メニュー (P.24) に切り替える。
拡張設定メニューの項目 (P.25) も選択可能にするには、本体の RETURN ボタンを押した状態で、SETUP ボタンを押す。



⇄ NETWORK Configuration

- 2 ▲/▼ ボタンを押して目的のメニュー項目を選び、ENTER ボタンを押す。
選択したメニュー項目の配下にサブメニューがある場合は、手順2を繰り返してサブメニュー項目も選んでください。

⇄ Firmware Update

- 3 ▲/▼ ボタンを押して適用する設定値を選び、ENTER ボタンを押す。



一部のメニュー項目では、数値アドレスの入力が必要になります。この場合は、◀/▶ ボタンで位置を移動し、▲/▼ ボタンで数値を選び、ENTER ボタンを押して内容を確定してください。

設定メニュー一覧

コントローラーにより選択可能な設定メニューが異なります。



メニュー	サブメニュー	設定値 (太字: 初期値)	機能	コントローラー	
				ブラウザー iPhone/ iPod touch	リモコン
ネットワーク CONFIGURATION Configuration	DHCP	On , Off	DHCP サーバーを使って本機の IP アドレスを自動で割り当てる場合は「On」を選びます。IP アドレスを手動で指定する場合は「Off」を選びます。		
	IP アドレス Address		「DHCP」が「Off」の場合に、IP アドレスを指定します。※ 1		
	サブネット マスク Mask		「DHCP」が「Off」の場合に、サブネットマスクを指定します。※ 1		
	デフォルト ゲートウェイ Gateway		「DHCP」が「Off」の場合に、デフォルトゲートウェイを指定します。 ※ 1		
	DNS サーバー Server (P)		「DHCP」が「Off」の場合に、プライマリ DNS サーバーを指定します。 ※ 1		
	DNS サーバー Server (S)		「DHCP」が「Off」の場合に、セカンダリ DNS サーバーを指定します。 ※ 1		
ネットワーク INFORMATION Information	マック アドレス Address		本機の MAC アドレスが表示されます。この MAC アドレスは、vTuner ID としても使います。		
	ステータス Status		本機のネットワークステータスが表示されます。	○	○
	システム System		本機のシリアル番号が表示されます。		
マック アドレス フィルタ MAC Address Filter			ネットワーク機器の MAC アドレス (最大 5 個) を指定します。「MAC Address Filter On/Off」が「On」の場合、ここで指定したネットワーク機器のみが本機にアクセスできます。	○	
ファームウェア バージョン Firmware Version (NP-S2000 Information)			本機にインストールされているファームウェアのバージョンが表示されます。	○	○

※ 1 「DHCP」が「On」の場合は、DHCP サーバーから割り当てられた値 (IP アドレスなど) を確認できます。

メニュー	サブメニュー	設定値 (太字: 初期値)	機能	コントローラー	
				ブラウザー iPhone/ iPod touch	リモコン
ファームウェア アップデート Firmware Update			本機のファームウェアを更新します。 -「Firmware Update?」が表示されたら、ENTER ボタンを押してファームウェアを更新してください。その後「Update OK」と表示されるまでは、本機を操作しないでください。 -すでに最新のファームウェアがインストールされている場合は、「Update OK」と表示されます。		○
フレンドリー ネーム Friendly Name			Windows 7 で使用する本機の名称を指定します。	○	

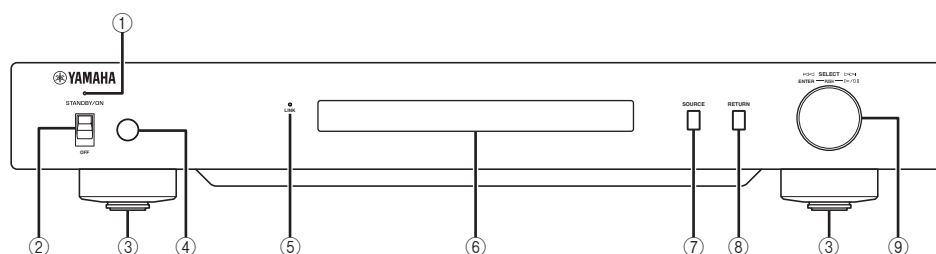
拡張設定メニュー一覧

以下のメニュー項目は、本体の RETURN ボタンを押した状態で、リモコンの SETUP ボタンを押した場合のみ選択可能になります。

メニュー	設定値 (*: 初期値)	機能
マック アドレス フィルタ MAC Address Filter オン オフ On/Off	On, Off	「MAC Address Filter」で MAC アドレスを指定したネットワーク機器のみ本機へのアクセスを可能にする場合は「On」を選びます。MAC アドレスフィルタを無効にする場合は「Off」を選びます。
ギャップレス プレイバック Gapless Playback	On , Off	曲間の無音を自動的にスキップする場合（ギャップレス再生）は「On」を選びます。ギャップレス再生を無効にする場合は「Off」を選びます。この機能は、「DLNA」コンテンツのみが対象です。  「Gapless Playback」が「On」の場合、再生中の曲の終わりで本機は次の曲のデータ読み込みを開始します。このタイミングで再生操作（スキップ、リピートなど）を行うと、次の曲に適用されます。
バイチューナー アカウント リセット vTuner Account Reset	Yes, No	vTuner のアカウントを消去する場合は「Yes」を選びます。「Please Power Off!」が表示されたら、本機の電源を切ってください。次回本機の電源を入れたときに、設定が反映されます。  新しいアカウントを作成するには、以下の URL にアクセスしてください。その際、本機の MAC アドレス、およびメールアドレスが必要になります。http://yradio.vtuner.com/
イニシャライズ Initialize	Yes, No	本機の設定をすべて初期化する場合は「Yes」を選びます。「Please Power Off!」が表示されたら、本機の電源を切ってください。次回本機の電源を入れたときに、設定が反映されます。

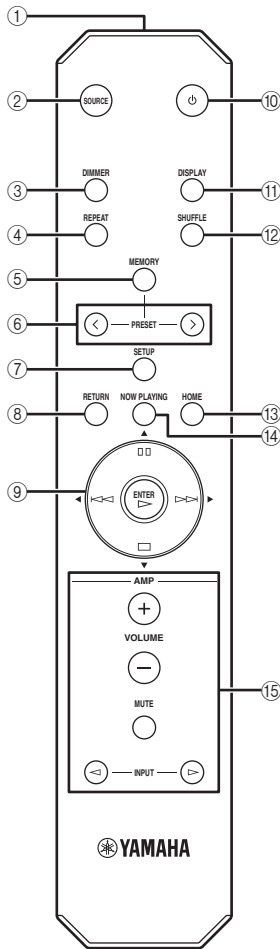
各部の名称と機能

フロントパネル



- ① **電源インジケーター**
点灯：電源オン
薄い点灯：スタンバイ
消灯：電源オフ
- ② **電源スイッチ (☞ P.15)**
本機の電源（オン/スタンバイとオフ）を切り替えます。
- ③ **脚 (☞ P.13)**
スパイクを使う場合は、磁石式のスパイクカバーを取り外してください。また、本機が不安定な場合には、脚を回して高さを調整できます。
- ④ **リモコン信号受光部 (☞ P.27)**
リモコン信号を受信します。
- ⑤ **フロントパネルディスプレイ**
点灯：本機がネットワークに接続されていて、IP アドレスが割り当てられている。
点滅：本機がネットワークに接続されているが、IP アドレスが割り当てられていない。
消灯：本機がネットワークに接続されていない。
- ⑥ **フロントパネルディスプレイ**
メニュー項目や再生情報を表示します。
- ⑦ **SOURCE (☞ P.20)**
ソースの種類を選びます。
- ⑧ **RETURN (☞ P.20)**
フロントパネルディスプレイに1つ上の階層のメニューを表示します。
- ⑨ **ジョグダイヤル (☞ P.20)**
回して項目を切り替え、押して選択を確定します。

リモコン



- ① **リモコン信号送信部**
本体にリモコン信号を送信します。
- ② **SOURCE** (☞ P.20)
ソースの種類を選びます。
- ③ **DIMMER**
ディマー
フロントパネルディスプレイの明るさを調節します。
- ④ **REPEAT** (☞ P.21)
リピート
リピート再生のモード (全曲リピート、1 曲リピート、無効) を切り替えます。
- ⑤ **MEMORY** (☞ P.21)
メモリー
本機をプリセットモードに切り替えます。
- ⑥ **PRESET** (☞ P.21)
プリセット
プリセット番号を選びます。
- ⑦ **SETUP** (☞ P.23)
セッティング
フロントパネルディスプレイに設定メニューを表示します。
- ⑧ **RETURN** (☞ P.20)
リターン
フロントパネルディスプレイに1つ上の階層のメニューを表示します。
- ⑨ **カーソルボタン / ENTER** (☞ P.20, 23)
エンター
カーソルボタンで項目を選び、ENTER ボタンで選択を確定します。
- ⑩ **電源** (☞ P.15)
本機の電源 (オンとスタンバイ) を切り替えます。
- ⑪ **DISPLAY** (☞ P.21)
ディスプレイ
フロントパネルディスプレイに表示されている再生情報を切り替えます。
- ⑫ **SHUFFLE** (☞ P.21)
シャッフル
シャッフル機能の有効 / 無効を切り替えます。
- ⑬ **HOME** (☞ P.20)
ホーム
フロントパネルディスプレイにトップメニューを表示します。
- ⑭ **NOW PLAYING** (☞ P.20)
プレイング
フロントパネルディスプレイに再生情報を表示します。
- ⑮ **アンプ操作ボタン**
ヤマハ製アンプを操作します。詳しくは、お使いのアンプに付属している説明書をご覧ください。

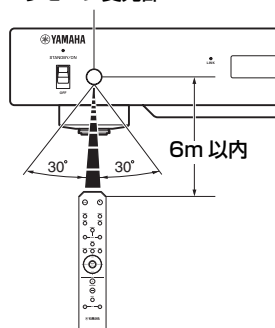


一部のヤマハ製アンプには機能しません。

■ リモコンの操作範囲

リモコンは必ず本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコン受光部



補足情報

本機に関する基本情報

■ 全般

「ネットワークプレーヤー NP-S2000」とは？

NP-S2000 は以下の音声ソースを再生できるネットワークプレーヤーです。

- DLNA 対応のサーバー (PC/NAS に保存した音楽ファイル)
詳しくは、下記の「DLNA」をご覧ください。
- インターネットラジオ (vTuner)
詳しくは、「インターネットラジオ」(P.29)をご覧ください。
また、付属のリモコン以外に、PC のブラウザや iPhone/iPod touch 専用アプリケーションを使って、再生するコンテンツを選んだり本機を操作したりできます。

ネットワーク機能の詳細を教えてください。

LAN ケーブル (STP カテゴリ 5 ストレート) を使って、本機をホームネットワーク (DLNA) に接続することで、インターネットラジオ、および同一ネットワーク内のサーバーに保存されている音楽ファイル (指定したフォルダ / ディレクトリ内) の再生をお楽しみいただけます。ホームネットワークを構築するために必要な機器および設定については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

お気に入りのコンテンツをプリセット (登録) できますか？

本機では、最大 20 個のコンテンツをプリセット (登録) できます。お気に入りのコンテンツをプリセット (登録) しておけば、リモコンを使っていつでも簡単に再生できます。詳しくは、「お気に入りのコンテンツを登録する」(P.21) をご覧ください。

さらに、「vTuner Radio Guide」ウェブサイトでお気に入りのインターネットラジオ局を登録することも可能です。この機能を使うには、以下の URL にアクセスしてアカウントを取得してください。アカウントの取得には、本機の MAC アドレス (P.24)、およびメールアドレスが必要になります。<http://yradio.vtuner.com/>

NP-S2000 はマルチ言語表示に対応していますか？

対応しています。NP-S2000 のフロントパネルディスプレイは、曲名などに含まれている英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、日本語が表示可能です。

■ DLNA

「DLNA」とは？

Digital Living Network Alliance (デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス) の略で、デジタル家電など家庭内ネットワークの相互接続の標準化を推進するガイドラインです。

対象機器は、デジタルメディアサーバー (DMS)、デジタルメディアレンドラー (DMR)、デジタルメディアプレーヤー (DMP)、デジタルメディアコントローラー (DMC) の 4 つのカテゴリに分類されます。

「DMS」とは、音楽ファイルなどのデジタルコンテンツの保存や配信のための機能を備える機器です。本機では、PC や NAS が「DMS」に該当します。「DMR」とは本機のように、「DMC」から制御信号を受信し、デジタルコンテンツを再生する機器です。同様に、「DMP」もデジタルコンテンツの再生機能を備えた機器です。「DMC」とはデジタルコンテンツを制御する機器です。本機では PC のブラウザや iPhone/iPod touch 専用アプリケーションが「DMC」に該当します。

どんなサーバーを使えば DLNA で音楽ファイルのブラウズや再生ができますか？

以下のような DLNA 対応のサーバーをご使用ください。

Windows Media Player 12 または Windows Media Player 11 が稼動する PC

本機で PC のフォルダ (ディレクトリ) をブラウズするには、あらかじめ Windows Media Player 12 または Windows Media Player 11 の共有設定で、該当フォルダを本機からアクセス可能な状態にしておく必要があります。

Windows Media Player について詳しくは、マイクロソフト社にお問い合わせください。

TwonkyMedia server がインストールされている PC

別冊の「TwonkyMedia server ライセンス・キー」に記載されたライセンス・キーを使って、無償でダウンロードできます。TwonkyMedia server を PC にインストールすることで、FLAC 形式の音楽ファイルや iTunes ライブラリの曲も本機で再生できます。

ネットワークに接続可能なサーバーの数は？

最大 16 台のサーバーを 1 つのネットワークに接続できます。

NP-S2000 で再生可能な音声フォーマットは？

WAV、FLAC、MP3、AAC、WMA ファイルのモノラルおよびステレオ音声再生可能です。

例えば、下記のような音楽ファイルは再生できません。

- ・著作権保護 (DRM) 付き音楽ファイル
- ・ATRAC ファイル、WAV や WMA のマルチチャンネル音声

NP-S2000 で iTunes ライブラリの曲を再生できますか？

TwonkyMedia server を PC にインストールするか、iTunes ライブラリの再生に対応している NAS を使用すれば、MP3、AAC、WMA ファイルを再生できます。

■ インターネットラジオ**インターネットラジオの詳細を教えてください。**

ホームネットワーク経由で本機がインターネットに接続可能であれば、vTuner.com 社のデータベースサービスを利用して、世界中の 2000 局以上のインターネットラジオ局をお楽しみいただけます。音途切れなどの少ない良好な状態でインターネットラジオをお楽しみいただくために、インターネット接続はなるべく高速なブロードバンド接続をお使いください。ブロードバンド接続については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

自分で見つけたインターネットラジオ局をリストに追加できますか？

「vTuner Radio Guide」ウェブサイトで、リストにないインターネットラジオ局を自分で追加できます。この機能を使うには、以下の URL にアクセスしてアカウントを取得してください。アカウントの取得には、本機の MAC アドレス (P.24)、およびメールアドレスが必要になります。

<http://yradio.vtuner.com/>

聴かないインターネットラジオ局をリストから削除できますか？

インターネットラジオ局の削除はできません。

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に作動しなくなった場合、下記の点をご確認ください。また、FAQ ファイルを「<http://jp.yamaha.com/av/>」からダウンロードしてご確認ください。対処しても正常に作動しない、または記載されていない異常が認められた場合は、本機の電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

■ 一般

症状	原因	対策	ページ
本機の電源が入らない	電源コードが AC IN 端子に接続されていない、または電源プラグが AC コンセントに接続されていない。	電源コードを正しく接続してください。	13
	本機が外部電気ショック（落雷または過度の静電気）を受けた。	AC コンセントから電源プラグを抜き、約 30 秒後にもう一度差し込んでください。	—
フロントパネルの電源インジケータが点滅する	本機内部の回路に異常がある。	電源プラグを抜いて、電源プラグを抜いて、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。	—
音が出ない	本機とアンプがしっかり接続されていない。	オーディオケーブルの接続を確認してください。接続に問題がなければケーブルに接続不良が発生している可能性があります。	13
	アンプ側で正しい音声入力選ばれていない。	アンプ側の音声入力を本機からの音声に切り替えてください。	—
ハム音が入る	本機とアンプがしっかり接続されていない。	オーディオケーブルの接続を確認してください。接続に問題がなければケーブルに接続不良が発生している可能性があります。	13
リモコンで本機を操作できない、または正しく機能しない	リモコン操作範囲からはずれている。	本体のリモコン受光窓から 6m 以内、リモコン受光部の正面から左右 30° 以内の範囲で操作してください。	27
	リモコン受光部に日光や照明（インバータ蛍光灯やストロボライトなど）があたっている。	照明、または本体の向きを変えてください。	—
	乾電池が消耗している。	乾電池をすべて新品に交換してください。	8

症状	原因	対策	ページ
リモコンの PRESET ボタンが機能しない	プリセットしたコンテンツが保存されている、メディアサーバーの電源が入っていない。	メディアサーバーの電源を入れてから、もう一度操作してください。	—
	プリセットしたインターネットラジオ局のサービスが終了している。	別のコンテンツをプリセットしてください。	21
リモコンのアンプ操作ボタンが機能しない	ヤマハ製以外のアンプを使っている。(ヤマハ製でも一部のアンプには機能しません。)	アンプに付属しているリモコンをご使用ください。	—

■ DLNA

症状	原因	対策	ページ
メディアサーバー (PC) を検出できない	PC にサーバーアプリケーションがインストールされていない。	Windows Media Player 11、Windows Media Player 12、TwonkyMedia server などの DLNA 対応サーバーアプリケーションをインストールしてください。	—
	PC で Windows Media Player 11 または Windows Media Player 12 が起動していない。	Windows Media Player 11 または Windows Media Player 12 を起動してください。	—
	Windows Media Player 11 または Windows Media Player 12 の共有設定が正しくない。	本機が PC のフォルダにアクセスできるように、共有設定を変更してください。	16
	PC にインストールされているアンチウイルスソフトウェアによりアクセスが制限されている。	アンチウイルスソフトウェアの設定 (ファイアウォールなど) をご確認ください。	—
本機で再生できない音楽ファイルがある	iTunes ストアで購入した著作権保護 (DRM) 付き音楽ファイルを再生しようとしている。	iTunes ストアで購入した著作権保護 (DRM) 付き音楽ファイルは再生できません。	—
	TwonkyMedia server がインストールされていない PC に保存されている FLAC ファイルを再生しようとしている。	PC に TwonkyMedia server をインストールしてください、または FLAC ファイルの再生に対応している NAS をご利用ください。	—

■ インターネットラジオ

症状	原因	対策	ページ
一部のインターネットラジオ局の放送を受信できない	選択したインターネットラジオ局のサービスが現在停止している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、時間帯によりサービスを休止している場合があります。またリストに含まれていても、すでにサービスを終了している場合があります。（リストの更新まで時間がかかります。）別のラジオ局を選んでください。	—
受信しているのに音が出ない	選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	時間帯により無音を放送しているラジオ局があります。しばらく経ってからもう一度再生するか、別のラジオ局を選んでください。	—
音声途切れる	選択したインターネットラジオ局までのネットワーク環境に何らかの問題が生じている。	しばらく経ってからもう一度再生するか、別のラジオ局を選んでください。なお、すべての局で音途切れが生じる場合は、お使いのネットワーク環境に問題がある可能性があります。音途切れなどの少ない良好な状態でインターネットラジオをお楽しみいただくために、インターネット接続はなるべく高速なブロードバンド接続をお使いください。ブロードバンド接続については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。	—

■ フロントパネルディスプレイの表示メッセージ

メッセージ	状態
<Access Denied>	メディアサーバーへのアクセスが拒否されました。
<Access Error>	本機がメディアサーバーに接続できません。
List Update	メディアサーバーのコンテンツリストが更新されました。
<No Content>	コンテンツが見つかりません。
<No DLNA Server Found>	DLNA サーバーが見つかりません。
<No Link>	本機がネットワークに接続されていません。
<No Preset Memory>	コンテンツがプリセット（登録）されていません。
<Not Available>	実行した操作は無効です。
Please Wait	指定されたファイルを読み込み中です。
<Preset Memory Error>	コンテンツをプリセット（登録）できません。
Preset No.XX is not Found.	選択したプリセット番号（XX）に登録されている曲またはインターネットラジオ局が見つかりません。
<Unable to Play>	指定されたファイルを再生できません。

お手入れのしかた

表面を傷めるおそれがあるため、ベンジンやシンナーなどの化学薬品は使わないでください。柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた洗剤を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

主な仕様

入力端子 / 出力端子

- ・ NETWORK
 - イーサネットインターフェース 100Base-TX/10Base-T
 - DLNA バージョン 1.5 (DMP/DMR 対応)
 - 音声フォーマット (DLNA) WAV、FLAC、MP3、AAC、WMA
 - 音声フォーマット (Internet Radio) MP3、WMA
 - サンプリング周波数 (DLNA) 96、88.2、64、48、44.1、32、24、22.05、16、12、11.025、8kHz
 - 量子化ビット数 (DLNA) 16、24bit
 - ・ BALANCED OUT 2ch (L/R)
 - ・ ANALOG OUT 2ch (L/R)
 - ・ DIGITAL OUT
 - 光 × 1
 - 同軸 × 1
 - ・ SYSTEM CONNECTOR (製品検査用) × 1

オーディオ部

- ・ 出力レベル
 - 1kHz、0dB、fs 44.1kHz 2.0 ± 0.3V
- ・ S/N 比 (IHF-A ネットワーク)
 - 1kHz、0dB、fs 44.1kHz 116dB 以上
- ・ ダイナミックレンジ
 - 1kHz、0dB、fs 44.1kHz 100 dB 以上
- ・ 歪率
 - 1kHz、0dB、fs 44.1kHz 0.002% 以下
- ・ 周波数特性
 - fs 44.1kHz 2Hz ~ 20kHz、-3dB
 - fs 48kHz 2Hz ~ 24kHz、-3dB
 - fs 96kHz 2Hz ~ 48kHz、-3dB

総合

- ・ 電源電圧 AC100V、50/60Hz
- ・ 消費電力 30W
- ・ 待機電力 (参考値) 0.3W
- ・ 寸法 (幅×高さ×奥行き) 435 × 69 × 440mm
- ・ 重量 12kg

* 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

iPod touch、iPhone

Macintosh、Mac OS、iPod touch、iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標または登録商標です。iPhone は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows Media Audio、Windows Media Player、Internet Explorer は米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

TwonkyMedia は PacketVideo Corporation の登録商標です。



Fraunhofer
Institut
Integrierte Schaltungen

MPEG Layer 3 音声圧縮技術はFraunhofer IIS および Thomson によってライセンス供与されています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■ 使用許諾契約

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、「使用許諾契約」を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をされた場合には下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みください。ご同意いただけない場合は、ダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。すでにダウンロードやインストールをしたが、下記条項にご同意いただけないという場合には、速やかに本ソフトウェアを削除してください。

著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- ・バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- ・お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

使用制限

- ・本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。
- ・本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- ・本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- ・本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- ・本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- ・弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。
- ・楽曲用 M I D I データ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。
- ・本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- ・本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- ・本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可なく解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

ダウンロードによる場合の保証

お客様がダウンロードのプロセスに誤りがあったと考える場合には、お客様は、ダウンロード後2週間以内に限り、お客様から弊社まで連絡をいただき、弊社の許諾を得た上で、本ソフトウェアを再ダウンロードすることができます。ただし、この場合、最初にダウンロードを試みた際の本ソフトウェアのコピーの全部ないし一部を削除しなければなりません。弊社はそれ以上の保証はいたしません。

本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことなどの保証は明示であると黙示であると問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- ・弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- ・弊社は、明示であると黙示であると問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- ・弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

■ ソフトウェアに関する情報

本製品は以下の無償ソフトウェアを使用しています。
各ソフトウェアの詳細（著作権など）については、以下に示した原文をお読みください。

About zlib Library

Copyright notice:

©1995-2010 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly	Mark Adler
jlgoup@gzip.org	madler@alummi.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

About FLAC codec Library

Copyright ©2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007, 2008,2009 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

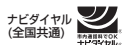
Notice for Windows Media DRM

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft. Content owners use Windows Media digital rights management technology (WMDRM) to protect their intellectual property, including copyrights. This device uses WMDRM software to access WMDRM protected content. If the WMDRM software fails to protect the content, content owners may ask Microsoft to revoke the software's ability to use WMDRM to play or copy protected content. Revocation does not affect unprotected content. When you download licenses for protected content, you agree that Microsoft may include a revocation list with the licenses. Content owners may require you to upgrade WMDRM to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器で相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理で相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAX (053) 463-1127

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

名古屋 〒454-0058 名古屋市千川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理で相談センターにご連絡ください。

- **保証期間**
お買い上げ日から1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理で相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

